

港新聞の発行目的

- まじめに生活し働く区民の立場で
- 真実を伝え、ともに考え、提案し
- よりよい港区づくりに貢献する

発行 **港新聞** (代表: 飯田吉一)

〒552-0005 大阪市港区田中3-3-3 TEL・FAX: 06-6571-4636

<http://osaka-minatonews.sakura.ne.jp/>

Eメール: yamaemi@bridge.ocn.ne.jp

毎月15日にホームページで発行 <冊子1冊300円, 年間3000円>

港新聞が閲覧できる場所

港図書館(弁天 2-1-5), 港区民センター(弁天 2-1-5), 弁天町市民学習センター(弁天 1-2-2-700), 各銭湯(朝日湯除く), 港区在宅サービスセンターひまわり(弁天 2-15-1), 築港地域在宅サービスステーション(築港 2-4-16), 港スポーツセンター(田中 3-1-126), ほのぼの休憩所(八幡屋商店街内), 石炭倉庫(波除 6-5-18), シネ・ヌーヴォ(西区九条 1-20-24), 韋駄天尊(繁栄商店街内), 珈琲館隠岐(磯路 3-25-6), 交通科学博物館(波除 3-11-10)

パソコントラブルレスキュー

パソコンに関するのなら、すべておまかせください。

矢野システム研究所

- ▶ パソコンが起動あがらない
- ▶ データを消してしまった、消えてしまった
- ▶ ハードディスクが調子悪い、大事なデータを取り出したい
- ▶ ウィルスが進入して困った、どうしよう
- ▶ 外国船のパソコンが調子悪い、助けて!

港区八幡屋1-9-2 ☎6573-4321

ボクササイズ シェイプアップ!

月会費5,000円 入会金1万円を
(無期限10枚綴り) **只今半額**
(チケット5000円)

練習日 月・水・金 PM7:30~9:30

三先2-13-9 港ボクシングジム (地) 朝潮橋駅歩道橋すぐ
<http://ameblo.jp/minatogym/>

ゆうやけ

★「労働の場だった大阪港の海に眠らせてやりたい」との親族の意向で実施された石綿犠牲者・真下健二さんの散骨式(12頁)。その労働→発症→闘病の過程を改めて振り返ることで、石綿の恐ろしさや経済優先・人命軽視の国の姿勢を浮き彫りにでき、同時に、自らが死に至る苦難を背負った際に如何に生きるべきかにも心を向けられたように思います。読者の皆さんの真摯な感想をお待ちしています。

★「有機化学で」「家庭から」「安心社会へ」とそれぞれの言葉で社会貢献を誓った新成人たち(20頁)。「都構想」PRに重点が置かれた市長祝辞でしたが、残りの内容(自分が動けば誰か

が助けてくれる)をストレートに受け止め感謝していたのが印象的でした。その素直さに応え、頑張っても報われない財界優先・競争万能の大阪づくりだけはやめてな、橋下さん。

★遂に完結を見た猪伏昌三さんの「戦争体験」(34頁)。「希望と失望、苦渋と安堵、歓喜と悲哀が変転交錯する中を、愛する故国めざして老若男女がひたすら助け合い、励まし合って完結させたドラマ」との感慨は掛け値なしの実感だったことでしょう。戦後の「阪神大震災」体験も詳しく聴き取りましたが、それはまた別の機会に。次号から新たな語り部に体験を語って頂きます。乞うご期待。